

平成 26 年 9 月定例会 提出議案の名称と概要

●平成 25 年度決算関係

議案第 44 号 平成 25 年度北栄町一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第 45 号 平成 25 年度北栄町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 46 号 平成 25 年度北栄町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 47 号 平成 25 年度北栄町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 48 号 平成 25 年度北栄町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 49 号 平成 25 年度北栄町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 50 号 平成 25 年度北栄町風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 51 号 平成 25 年度北栄町栄財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 52 号 平成 25 年度北栄町合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 53 号 平成 25 年度北栄町大栄歴史文化学習館特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 54 号 平成 25 年度北栄町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 55 号 平成 25 年度北栄町水道事業会計決算の認定について

議案第 56 号 平成 25 年度北栄町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

報告第 6 号 平成 25 年度決算に基づく健全化判断比率について

報告第 7 号 平成 25 年度決算に基づく資金不足比率について

※ 議案第 44 号～第 56 号及び報告第 6 号、第 7 号は「資料 1」による。

●平成 26 年度予算関係

議案第 59 号 平成 26 年度北栄町一般会計補正予算（第 2 号）

議案第 60 号 平成 26 年度北栄町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 61 号 平成 26 年度北栄町介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 62 号 平成 26 年度北栄町下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）

議案第 63 号 平成 26 年度北栄町大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 64 号 平成 26 年度北栄町水道事業会計補正予算（第 1 号）

※ 議案第 59 号～第 64 号は「資料 2」による。

●条例制定関係

議案第 57 号 北栄町町長等の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

固定資産税事務をはじめ一連の不適切な事務処理に対し、監督責任者として自らの給料の特例減額を行うため、条例の一部を改正するもの。平成 26 年 9 月の給料について、給料の特例条例により町長 10%、副町長 7%減じたものから、町長 10%、副町長 5%減じる。（施行日 公布の日）

議案第 58 号 北栄町特別医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律及び母子及び寡婦福祉法の一部改正に伴い、北栄町特別医療費助成条例の改正を行うもの。

（施行日 平成 26 年 10 月 1 日） 1

平成25年度決算の概要

1 一般会計

(決算額)

歳入総額	78億 5,484万 2,593円
歳出総額	74億 911万 2,379円
歳入歳出差引額	4億 4,573万 214円

(歳入・歳出の主なもの)

(歳入)		(歳出)	
地方交付税	37億 7,654万円	民生費	21億 3,056万円
町税	13億 3,861万円	総務費	13億 8,596万円
地方債	7億 4,600万円	公債費	10億 6,896万円
国庫支出金	5億 8,219万円	土木費	8億 2,712万円
県支出金	5億 1,219万円	衛生費	6億 4,338万円
繰越金	2億 3,377万円	教育費	5億 5,192万円

※単位未満切捨て

(健全化判断比率)

実質赤字比率	— %	(普通会計による比率。7.13%の黒字)
連結実質赤字比率	— %	(全会計による比率。11.01%の黒字)
実質公債費比率	16.4 %	(H23～H25の3年平均)
将来負担比率	126.7 %	

(企業会計の資金不足比率)

北栄町水道事業特別会計	— %
北栄町下水道事業特別会計	2.1 %
北栄町農業集落排水事業特別会計	— %
北栄町合併処理浄化槽事業特別会計	— %
北栄町風力発電事業特別会計	— %
北栄町大栄歴史文化学習館特別会計	— %

2 国民健康保険事業特別会計

歳入総額	19億 8,118万 1,682円
歳出総額	19億 7,816万 9,510円
歳入歳出差引額	301万 2,172円

3 介護保険事業特別会計

歳入総額	16億 2,502万 4,223円
歳出総額	15億 8,816万 9,058円
歳入歳出差引額	3,685万 5,165円

4 住宅新築資金等貸付事業特別会計

歳入総額	780万 7,802円
歳出総額	3,790万 4,492円
歳入歳出差引額	△ 3,009万 6,690円

5	下水道事業特別会計			
	歳入総額	12億	520万	2,602円
	歳出総額	12億	1,223万	5,799円
	歳入歳出差引額	△	703万	3,197円
6	農業集落排水事業特別会計			
	歳入総額		1,778万	2,000円
	歳出総額		1,778万	2,000円
	歳入歳出差引額			0円
7	風力発電事業特別会計			
	歳入総額	4億	9,126万	5,723円
	歳出総額	4億	1,105万	4,277円
	歳入歳出差引額		8,021万	1,446円
8	栄財産区特別会計			
	歳入総額		90万	9,285円
	歳出総額		47万	3,243円
	歳入歳出差引額		43万	6,042円
9	合併処理浄化槽事業特別会計			
	歳入総額		644万	5,707円
	歳出総額		644万	5,707円
	歳入歳出差引額			0円
10	大栄歴史文化学習館特別会計			
	歳入総額		4,940万	4,059円
	歳出総額		4,546万	7,866円
	歳入歳出差引額		393万	6,193円
11	後期高齢者医療事業特別会計			
	歳入総額	1億	4,284万	2,587円
	歳出総額	1億	4,244万	5,417円
	歳入歳出差引額		39万	7,170円
12	水道事業会計			
	(収益的収支)			
	収入合計	2億	5,131万	7,898円
	支出合計	2億	653万	1,475円
	差引		4,478万	6,423円
	(資本的収支)			
	収入合計		8,555万	6,616円
	支出合計	2億	1,124万	5,971円
	差引	△1億	2,568万	9,355円

1. 健全化判断比率の状況

(単位:%)

市区町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率 (前年度)	将来負担比率 (前年度)	資金不足比率(下水道 事業特別会計) (前年度)
北栄町	該当なし	該当なし	16.4 (18.2)	126.7 (132.9)	2.1 (2.0)

(単位:%)

早期健全化基準	14.79	19.79	25.0	350.0	20.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0		

◎用語の説明

- 早期健全化基準…この基準をいずれかの比率が超えると、財政健全化計画を定め自主的な改善努力により健全化を図ります。
- 財政再生基準…この基準をいずれかの比率が超えると、財政再生計画を定め国の関与により再生を図ります。
- 標準財政規模…地方自治体の一般財源の標準的な大きさを示します。「標準税収入額」+「普通交付税」+「臨時財政対策債」

2. 要因と今後の見通し

実質公債費比率

公債費や公債費に準じた経費を標準財政規模と比較することにより財政の硬直化を示します。これらの経費は削減したり、先送りすることの出来ない最も義務的な経費なので、この比率が高まると財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと収支が悪化し赤字団体になる可能性が高まります。

○減少の要因

- ・債務負担行為に係る支出の減少
- ・基準財政需要額に算入された公債費の増加

○今後の見通し

平成22年度をピークに元利償還金は減少していることから、実質公債費比率も減少し平成27年度には16%未満になる見込みですが、比率増減の要因となる普通交付税や下水道事業債への繰出などが見込みどおりに推移するかについては十分注意が必要です。また、増加要因として鳥取中部ふさと広域連合主体の大型事業が控えているなど、新たな借金をなるべく抑えるなど引き続き改善の取り組みを進めます。

将来負担比率

地方債の現在高等、将来負担すべき債務を標準財政規模と比較することにより、将来負担の程度を示します。この比率が高い場合は、一般財源の規模に比べて将来負担額が大きいくということになり、今後実質公債費比率が増大することによって、財政運営上問題が生じる可能性が高くなります。

○減少の要因

- ・一般会計、下水道事業特別会計起債残高の減少
- ・鳥取中部ふさと広域連合が起こした地方債の償還に充てる負担残高の減少

○今後の見通し

将来負担の主な要素である一般会計及び下水道事業特別会計の起債残高が今後減少していく予定ですので、それに伴い将来負担比率も減少していく見込みです。

資金不足比率（下水道事業特別会計）

一般会計等の実質赤字にあたるものであり、公営企業における資金不足の状況を示します。この比率が高くなるほど事業規模に比して累積された資金不足が発生しており、経営状況に問題があることとなります。資金不足のうち、将来の料金収入等で解消することが予定されている部分は、資金不足額から差し引いて計算されます。

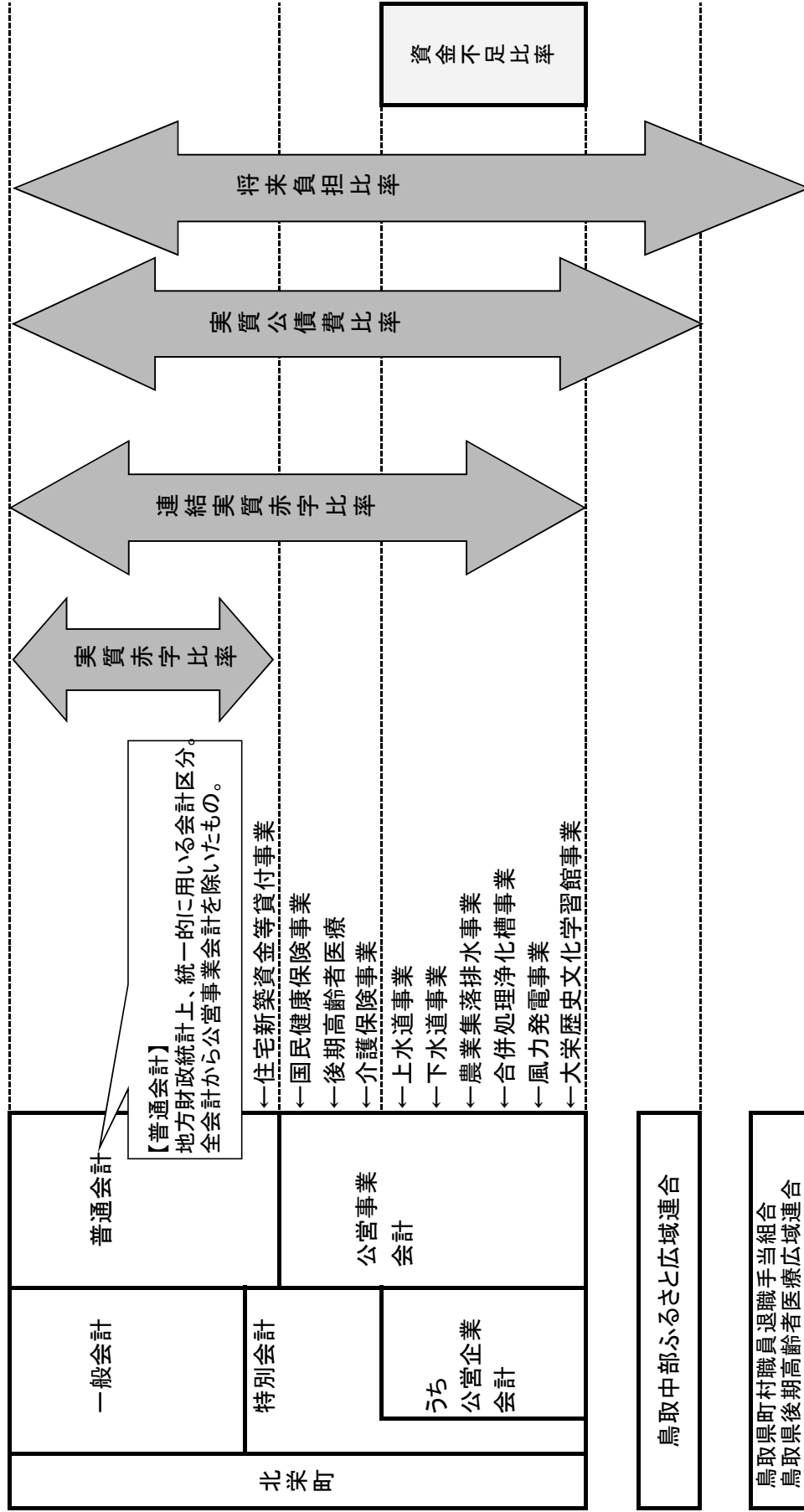
○北栄町の状況

特別会計の実質収支が赤字になっており、資金不足比率が算出されています。収益から費用を控除した額が昨年度よりも減少したことにより資金不足解消可能額が減少したため、比率は0.1%増加しています。

○今後の見通し

平成24年度で事業は完了しましたが、起債の償還は今後も続くため、引き続き資金不足の状態が続く見込みです。一方、起債残高の減少により資金不足解消可能額は増加すると見込まれ、比率を引き下げる要因となる見込みです。

◎健全化判断比率の対象について



平成26年9月定例議会補正予算（案）概要

■ 9月定例議会提出補正予算

1 一般会計補正予算（第2号）

現計予算額7,297,075千円 補正額558,049千円 補正後の額7,855,124千円

（主な歳入）

普通交付税	166,685千円
国庫支出金・県支出金	△36,580千円
ふるさと北栄基金寄附金	28,500千円
前年度繰越金	399,457千円

（主な歳出）

財政調整基金積立金	398,727千円
ふるさと北栄基金事業	17,872千円
庁舎太陽光発電設備設置工事	△51,300千円
大栄庁舎屋上・外壁防水工事	62,649千円
公共施設等総合管理計画作成事業	5,400千円
観光振興事業	2,259千円
感染症等予防事業	8,232千円
販売強化活動事業	304千円
道路維持管理事業	17,786千円
大栄中学校プール改築事業	8,294千円

（財政調整基金の状況）

前年度末残高	1,245,295千円
1号補正後残高	1,258,734千円
2号取崩額(△)	0千円
2号積立額	398,727千円
現在高	1,657,461千円

2 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

現計予算額 1,927,485千円 補正額 35,352千円 補正後の額 1,962,837千円
 （補正の内容） 療養給付費等負担金返還金の増

3 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

現計予算額 1,624,389千円 補正額 32,937千円 補正後の額 1,657,326千円
 （補正の内容） 繰越金の計上、国庫支出金等返還金の増

4 下水道事業特別会計補正予算（第3号）

現計予算額 1,263,332千円 補正額 6,042千円 補正後の額 1,269,374千円
 （補正の内容） 配水管・圧送管本設工事費の増

5 大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第1号）

現計予算額 51,009千円 補正額 3,937千円 補正後の額 54,946千円
 （補正の内容） 委託料、工事請負費の増

6 水道事業会計補正予算（第1号）

収益的支出 現計予算額 249,176千円 補正額 53千円 補正後の額 249,229千円
 （補正の内容） 職員共済組合負担金の増

資本的支出 現計予算額 234,770千円 補正額 13,745千円 補正後の額 248,515千円
 （補正の内容） 移転工事費の増